

株主の皆さまへ

第62期 中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

証券コード：9888

ごあいさつ



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第62期中間報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

ステンレス鋼業界におきましては、国内景気は緩やかな回復傾向が継続しているものの、昨年来の原料価格下落の影響からステンレス鋼価格は頭打ちとなり、需要も伸び悩んでおります。

一方、メーカー各社は引き続き価格を維持する姿勢であるため、適切な価格での販売が流通の課題となっております。

そのようななか、当社企業集団の連結業績は、取引量の拡大、適正価格での販売、原価低減に注力し、収益確保に努めた結果、売上高は前年同期を上回りましたが、売上総利益率が低下したことにより、前年同期に比べ減益となりました。主力のステンレス鋼その他金属材料の販売事業は、販売価格が前年同期に比べ若干上昇したことにより増収となりましたが、計画した利益率を確保することができず減益となりました。第2の柱であるステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業は、国内事業

は好調を持続したものの中国における造管事業が減収・減益となりました。また、第3の柱である機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業も、前年同期に続き赤字決算となり、下半期も厳しい状況が予想されております。

このように、当上半期は前年同期比では減益となりましたが、期初に公表した業績予想を上回る結果となりましたので、予定しましたとおり中間配当（1株につき3円）を実施しますことをご報告いたします。

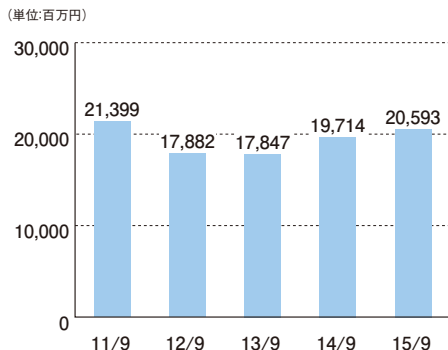
今後の事業環境は、決して楽観を許さない状況ではありますが、厳しい条件でも確実な利益が確保できるコスト構造をつくるため、これまでの取り組みを継続・強化し、強固な収益基盤を築き上げる所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、当社企業集団への一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

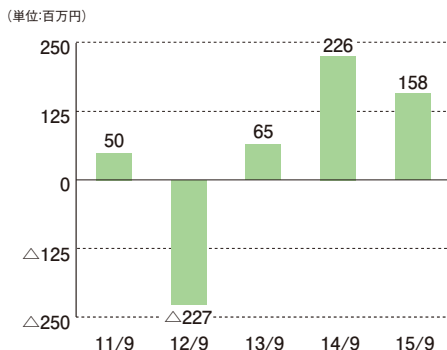
2015年11月

代表取締役社長 岸本 則之

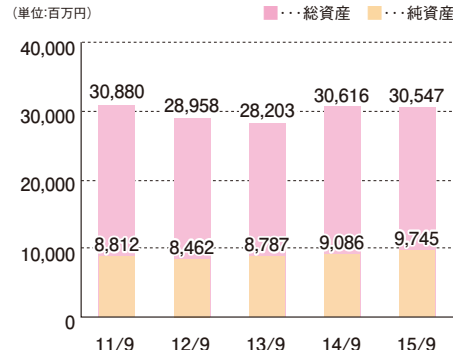
連結売上高(第2四半期累計)



連結四半期純利益(第2四半期累計)



総資産／純資産



事業の概況

当第2四半期（2015年4月1日～2015年9月30日）におけるわが国経済は、政府及び日銀の経済・金融政策を背景に、一部に弱さがみられるものの、企業収益や雇用・所得環境は緩やかな改善が進んでおります。一方、中国経済の減速による景気の下振れが懸念されるなど、実体経済は先行き不透明なものとなっております。

当社企業集団の属するステンレス鋼業界におきましては、昨年後半以降ニッケルをはじめとした原料価格が低下傾向となり、ステンレス市況も弱含みで推移しました。市況に先安観が台頭する中、需要も総じて弱く国内流通マーケットは全体的に盛り上がり欠ける動きとなりました。

このような状況のなか、当社企業集団の連結業績は、主力事業であるステンレス鋼その他金属材料の販売事業において、受注・販売量の確保に注力するとともに休眠顧客の掘起しや加工品を中心とした高付加価値商品の販売など積極的な営業展開を図った結果、売上高は前年同期に比べ4.5%増加の20,593百万円となりました。利益面につきましては、仕入価格に対応した販売価格の改定をすすめたものの予定の売上総利益を確保することができず、前年同期に比べ営業利益は5.4%減少の274百万円、経常利益は7.2%減少の269百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は30.3%減少の158百万円を計上しました。

ステンレス鋼その他金属材料の販売事業

ステンレス鋼の販売において、販売数量が前年同期に比べ2.0%減少したものの、販売価格が4.7%上昇したことなどにより、売上高は前年同期に比べ6.0%増加の19,719百万円となりました。営業利益は、売上総利益率の低下により前年同期に比べ12.7%減少の199百万円となりました。

ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業

国内建築分野のステンレス加工品販売は好調に推移しましたが、中国における造管事業は主力の自動車関連向けが減少したことにより、売上高は前年同期に比べ8.2%減少の536百万円となりました。営業利益も前年同期に比べ11.7%減少の74百万円を計上しました。

機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業

当第2四半期は主要な物件の売上計上がなく、前年同期に比べ売上高は34.9%減少の339百万円となりました。営業損益は、販売費及び一般管理費を上回る売上総利益を確保することができず6百万円の損失（前年同期は25百万円の損失）となりました。

セグメント別会社一覧

（単位：百万円）

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				14/9実績	15/9実績	
ステンレス鋼などの販売	UEX (当社)	1,512	—	18,898	19,614	ステンレス鋼などの在庫加工販売
	UEX管材	12.8	90.0	619	670	鋼管・鋼材・継手類・バルブ類の販売
	日進ステンレス	20	100.0	697	989	半導体装置用ステンレス鋼管などの販売
	ナカタニ(※)	10	33.6	1,749	1,701	鋳造品・鍛造品・機械部品などの設計・加工・販売
	ステンレス急送	10	100.0	185	196	貨物自動車運送業
加工製品の製造・販売	大崎製作所	15.5	100.0	429	473	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
	上海UEX	2,000千US\$	100.0	10.5百万円	8.1百万円	鋼管加工製品の製造・販売
機械装置エンジニアリング	上野エンジニアリング	60	90.0	521	346	一般産業用機械装置の設計・製作

(※)は持分法適用会社

会社概要 (2015年9月30日現在)

社名 株式会社UEX
英文商号 UEX, LTD.
設立 1955年1月14日
代表者 岸本 則之
資本金 15億1,215万円
従業員数 276名

本社 〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24
天王洲セントラルタワー 5F
TEL 03 (5460) 6500
FAX 03 (5460) 6409

株式の状況 (2015年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 36,000,000株
- 発行済株式の総数 12,000,000株
- 株主数 2,805名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率*
住友商事株式会社	1,200	10.9%
株式会社メタルワン	700	6.3%
新日鐵住金ステンレス株式会社	696	6.3%
株式会社みずほ銀行	548	5.0%
テックス・テクノロジー株式会社	428	3.9%
三井物産スチール株式会社	368	3.3%
UEX社員持株会	333	3.0%

※出資比率は自己株式（980千株）を控除して計算しております。

中間配当のご案内

2015年11月5日開催の取締役会決議により、中間配当金について次のとおり決定しました。

1. 中間配当金 1株につき 3円
2. 効力発生日および支払開始日 2015年12月4日（金）

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会基準日 毎年3月31日
期末配当基準日 毎年3月31日
中間配当基準日 毎年9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂
七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所
ジャスダック市場

公告の方法 電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
(公告掲載アドレス：
<http://www.uex-ltd.co.jp/>)

ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。